

2年次後期・必修

1単位・15時間

【概要・目的】

本科目は、保健看護の対象である人の健康の段階、発達段階に特徴づけられる対象者のニーズに応じた看護実践能力の基盤となる基礎的知識を学ぶことを目標とする。

加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を理解し、健康的で尊厳あるくらしに向けて生活機能を整え、高齢者がその人らしく健やかに老いることができるように高齢者とその家族の看護について学修する。

【到達目標】

- 1) 高齢者に生じやすい健康障害や生活機能障害とその予防に向けた援助について説明できる。
 - 2) 健康障害や生活機能障害をもつ高齢者を包括的に捉える視点で説明できる。
 - 3) 健康障害や生活機能障害をもつ高齢者の特徴をふまえた看護援助について説明できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) コミュニケーションの援助の意義と方法を理解する
 - 2) 動作と移動の援助の意義とその方法を理解する
 - 3) 休息・睡眠の援助の意義とその方法を理解する
 - 4) 排泄援助の意義とその方法を理解する
 - 5) 転倒・転落予防の援助の意義とその方法を理解する
 - 6) 食事の援助の意義とその方法を理解する
 - 7) 清潔・整容の援助の意義とその方法を理解する
 - 8) 薬物動態の変化と薬物療法における援助を理解する
-

【評価】

筆記試験 90%、講義への出席状況・参加状況 10%

【教科書】

【推薦参考図書】

随時紹介します。

正木治恵, 他 老年看護学概論「老いを生きる」を支えることとは（改訂第3版）南江堂

北川公子, 他 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学（第9版）医学書院

奥野茂代, 大西和子 老年看護学 - 概論と看護の実践（第6版）ヌーヴェルヒロカワ

【その他】